

# 第49回全国育樹祭

## 基本計画



令和7年3月

和歌山県

# 目次

第1章	全体計画	1
1	全国育樹祭の目的	1
2	和歌山県での開催状況	1
3	開催理念	2
4	大会テーマ	4
5	シンボルマーク・ロゴマーク	4
6	ポスター原画	4
7	開催行事	5
8	開催場所の詳細	6
第2章	運営計画	7
1	運営体制	7
2	輸送計画	7
3	宿泊計画	7
4	警衛及び警護	7
5	救護及び衛生	7
6	消防及び防災	8
7	環境整備	8
8	特産品等の展示及び販売	8
9	記念品等	8
10	昼食	9
11	雨天・荒天時等対応計画	9
第3章	お手入れ行事計画	10
1	会場の概要	10
2	会場整備・設営	11
3	行事参加者	11
4	行事の概要	12
第4章	式典行事計画	13
1	会場の概要	13
2	会場設営	14
3	行事参加者	14
4	式典行事の概要	15
5	会場計画図	17
第5章	併催行事計画	18
1	育林交流集会	18
2	全国緑の少年団活動発表大会	18
第6章	記念行事計画	19
1	森林・林業・環境機械展示実演会	19
2	国民参加の <sup>もり</sup> 森林づくりシンポジウム	19
3	その他の記念行事	20
4	その他の関連行事	20
第7章	その他	21
1	懇談会（歓迎レセプション）	21
2	広報・協賛	21



## 第 1 章 全体計画

### 1 全国育樹祭の目的

全国育樹祭は、継続して森を守り育てることの大切さを普及啓発し、活力ある森林を次の世代に繋げていくことを目的として、昭和52年から毎年秋季に行われている全国行事です。

全国植樹祭において天皇皇后両陛下がお手植えされた樹木を、皇族殿下がお手入れされるシンボリックの行事に加え、皇族殿下によるおことばや各種表彰等の式典行事が行われます。

### 2 和歌山県での開催状況

本県では、昭和52年に「第28回全国植樹祭」を、平成23年に「第62回全国植樹祭」を開催しています。今回、令和8年に本県で初めて全国育樹祭を開催します。

#### 第 28 回全国植樹祭（昭和 52 年）

昭和52年4月に東牟婁郡那智勝浦町的那智高原において、天皇皇后両陛下をお迎えして開催しました。「みんなで育てる みどりの郷土」を大会テーマとして、両陛下によるスギやヒノキのお手植えのほか、参加者による記念植樹などが行われました。

##### 【開催概要】

- 大会テーマ：みんなで育てる みどりの郷土
- 開催日：昭和52年4月17日
- 会場：那智高原



#### 第 62 回全国植樹祭（平成 23 年）

平成23年5月に田辺市の新庄総合公園において、天皇皇后両陛下をお迎えして開催しました。「緑の神話 今 そして未来へ 紀州木の国から」を大会テーマとして、両陛下によるウバメガシなど6種の苗木のお手植えやコウヤマキなど4種の種子のお手播きのほか、両陛下と一緒に参加者が竹ポットへ木の種を播きました。

また、この全国植樹祭を契機に、県では「和歌山の森林及び樹木を守り育てる条例」を制定しています。

##### 【開催概要】

- 大会テーマ：緑の神話 今 そして未来へ  
紀州木の国から
- 開催日：平成23年5月22日
- 会場：新庄総合公園





### 3 開催理念

本県は、温暖多雨な気候に恵まれ、樹木を始め多くの生物が共存している森、川、海という豊かな自然を有し、古くから「紀州 木の国」と呼ばれ、林業が盛んで、豊かな森林から生産される紀州材は、住宅用の木材としてねばり強く、また色つやの良い材として評価されています。

木の国和歌山の森林は、様々な林産物を供給するだけでなく、清らかな水を蓄え、災害から県民の暮らしを守り、多様な生態系を支える“恵みの森”であるとともに万葉の時代から歌に詠まれてきた美しい自然や世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道<sup>さんけいみち</sup>」に代表される景観を形成し、先人が守り、受け継いできた貴重な財産です。

その森林に親しみ森林を守るため、本県では、次代を担う子供たちへの森林・林業教育や企業の社会貢献活動（CSR）と森林保全活動をマッチさせた「企業の森」の取組を全国に先駆け進めてきました。

さらに、国際森林年である平成23年に本県にて開催した第62回全国植樹祭を機に、育んだ森林や及び樹木を大切に作る心を醸成し、森林や樹木を守り育てていくため、「和歌山の森林及び樹木を守り育てる条例」を制定し、毎年春に「わかやま森林と樹木の日」記念行事を実施しています。

また、本格的な利用期を迎えた森林資源の効果的な活用に向け、機械化の推進や林道の整備などを進め「伐って、使って、植えて、育てる」という循環利用を促進し、適正な森林管理のもとで、持続的な森林・林業・木材産業を実現するために、「和歌山県森林・林業”新”総合戦略」を策定し、様々な取組を推進しています。

こうした中、本県において全国育樹祭を開催することは、本県の魅力や取組を発信する絶好の機会であるとともに、豊かな木の国の緑を将来に引き継ぐための県民全体での取り組みの大きな節目となります。第62回全国植樹祭の開催理念を継承しながら、次の3つの行動を指針として、様々な人や方法で健全で多様な森林を作り、「恵みの森」の更なる高みを目指す大会とします。

① 守り、次の世代へつなぐ！	② 育み、木を活かす！	③ 共に考え、行動する！
<p>万葉の時代から歌に詠まれてきた美しい自然や、世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」に代表される景観を形成する“<u>恵みの森</u>”を守り、<u>次の世代に引き継ぎます</u>。</p>	<p>「紀州 木の国」の<u>森を育む</u>ことで、カーボンニュートラルに貢献するとともに、紀州材の利用など、<u>森林資源を有効に活か</u>します。</p>	<p>歴史と文化を学び、新しい知見や技術を取り入れながら、あらゆる人が<u>共に</u>支え合いながら時代に合わせた森づくりを<u>考</u>え、<u>行動</u>します。</p>

第49回全国育樹祭 基本コンセプト

全国植樹祭

第28回（1977年）@那智勝浦町  
みんなで 育てる みどりの郷土

希望と活力に満ちた  
健康で生きがいのある環境づくり

第62回（2011年）@田辺市  
緑の神話 今 そして未来へ  
紀州木の国から

「恵みの森」の再生と  
森林文化社会の実現を目指す

「恵みの森」のさらなる高みを目指す

第49回全国育樹祭（2026年）@田辺市&白浜町

大会テーマ

育てて使おう 地球に優しい 緑の資源

3つの行動指針



守り、  
次の世代へつなぐ！

育み、  
木を活かす！



共に考え、  
行動する！





#### 4 大会テーマ

### 育てて使おう 地球に優しい 緑の資源

- 作者 田上 玲奈 さん（和歌山県和歌山市在住）
- 説明 森林資源は、太陽と土と水さえあれば、再生産可能な循環資源です。しかも地球温暖化の原因となる CO2 を吸収し、木材という資源を創り、酸素を生み出してくれます。使っても使っても減らない緑の資源を、今こそ有効利用の時です。

#### 5 シンボルマーク・ロゴマーク

キノピー



紀の国森づくり大使  
 全国植樹祭シンボルマーク  
 全国育樹祭へのブリッジング・キャラクター



ロゴマーク（縦）



ロゴマーク（横）

#### 6 ポスター原画



- 作者 堀尾 来菜 さん  
（和歌山市立和歌山高等学校 2年）
- 画題 繋がる木
- 説明 私たちが今植えていく木がいつの日か後ろにある木のように大きくなって地球を支えていくイメージで描きました。自然の豊かさを感じてもらうために光や色をよく考えて描きました。



## 7 開催行事

### (1) 全国育樹祭行事

ア 主催：和歌山県、公益社団法人国土緑化推進機構

イ 開催時期：令和8年（2026年）秋季

※開催日の決定、公表は令和8年1月（予定）

ウ 参加人数：約2,700人

エ 内容：○皇族殿下によるお手入れ行事

○式典行事

- ・皇族殿下のおことば
- ・緑化功労者等の表彰
- ・緑の少年団活動の代表発表
- ・メインアトラクション
- ・大会宣言 など

オ 開催場所

○ お手入れ行事

- ・新庄総合公園（田辺市）：第62回全国植樹祭開催地

○ 式典行事

- ・白浜会館（白浜町）

### (2) 併催行事

ア 育林交流集会

イ 全国緑の少年団活動発表大会

### (3) 記念行事

ア 森林・林業・環境機械展示実演会

イ 国民参加の森林づくりシンポジウム

ウ その他の記念行事

1. わかやま森林と樹木の日記念行事
2. 都市と山村みどりの少年団交流集会

### (4) その他の関連行事

ア 市町村及び関係団体と連携した育樹行事等





## 第2章 運営計画

### 1 運営体制

#### (1) 実行委員会の設置

県内の関係機関・団体等が一体となって、全国育樹祭の開催に向けた準備を万全なものにするため、令和6年度に「第49回全国育樹祭和歌山県実行委員会」を設置しています。

#### (2) 実施本部の設置

全国育樹祭の式典等を円滑に実施するため、令和8年度に「第49回全国育樹祭和歌山県実施本部」を設置します。

#### (3) 緊急時の対応

荒天時の実施判断や非常事態に迅速に対応するための体制を整備します。

### 2 輸送計画

#### (1) 輸送日程

第49回全国育樹祭のお手入れ行事当日（併催行事開催）と、式典行事当日の2日間を基本とします。全国育樹祭の期間中、借上車両（バス等）及び指定した業務車両により、必要な輸送を行います。

#### (2) 輸送計画

参加者の安全な移動のため、借上げ車両を基本に策定します。

#### (3) 駐車場

参加者の円滑な輸送を行うため、式典会場等の周辺に借上車両用等の駐車場を確保します。

### 3 宿泊計画

#### (1) 宿泊対象者

宿泊対象者は、県外からの参加者とします。

#### (2) 宿泊期間

原則として、お手入れ行事の前日から式典行事当日までとします。

#### (3) 宿泊地

田辺市及び白浜町を中心に選定します。

### 4 警衛及び警護

和歌山県警察及び関係機関との緊密な連携のもと、警衛及び警護について万全を期します。

### 5 救護及び衛生

医療機関等との連携のもと、お手入れ会場、式典会場等における傷病者の救護体制を整備します。また、飲食等によるや感染症予防のため、環境衛生対策に万全を期します。



## 6 消防及び防災

消防等の関係機関等との緊密な連携のもと、万一の火災、自然災害等の緊急事態に備えます。

## 7 環境整備

式典会場に総合案内所や湯茶などの提供場所を設置し、参加者が快適に参加できる環境づくりに努めます。

## 8 特産品等の展示及び販売

式典会場の隣接地等に「おもてなしコーナー」を設置し、和歌山県の特産品等の展示、販売や観光情報の提供を行います。



「おもてなし広場（仮称）」のイメージ



第47回全国育樹祭（福井県）のおもてなし広場

## 9 記念品等

全国育樹祭への参加を記念し、和歌山県らしい記念品を贈呈します。

会場で使用する物品のほか、和歌山県の森林保全活動等の取組を紹介するパンフレットなどを配布します。



第47回全国育樹祭（福井県）の式典参加者配布用品



## 10 昼食

参加者が和歌山県の味覚を満喫できるお弁当や施設での食事が摂れるよう、会場運営を検討します。弁当を配布する場合は、製造から参加者の手元に届くまで、徹底した衛生管理を行うとともに、容器や包装資材については、環境に配慮したものを使用します。



第47回全国育樹祭（福井県）の弁当

## 11 雨天・荒天時等対応計画

行事中止の判断基準となるガイドラインの設定のほか、構成員の招集方法を定め、ガイドラインに基づき荒天時等の開催可否を判断するための「判定会議（仮称）」を設置します。

行事名	天候	対応	説明
お手入れ行事	晴天	開催	計画に基づき開催します
	雨天	開催	晴天時と同様に開催します
	荒天	中止	屋外会場のため安全面を考慮して中止します
式典行事	晴天	開催	計画に基づき開催します
	雨天	開催	屋内会場のため開催します
	荒天	開催	参加者の安全な輸送手段が確保できない場合は、プログラムの変更や規模の縮小、開催の中止など状況に応じて判断します

※巨大地震など緊急事態が発生した場合は、速やかに行事を中止します。



## 第3章 お手入れ行事計画

### 1 会場の概要

#### (1) 会場

新庄総合公園（田辺市たきない町 24-16）



新庄総合公園は「花」「芸術」「音楽と集い」をテーマとした文化の森に自然の森を融合させることにより、自然環境に親しみながら文化的活動を楽しむことのできる、田辺市の都市公園です。

平成23年に第62回全国植樹祭の会場になり、天皇皇后両陛下がお手植えなされた6種類の樹木が、公園の中心で今も大切に育てられています。

#### (2) お手植え木の状況



天皇陛下お手植えのウバメガシ



皇后陛下お手植えのイチイガシ



## 2 会場整備・設営

### (1) 会場整備

会場となる新庄総合公園で、円滑な行事運営に必要な整備を行います。

### (2) 会場設営

本県で開催された第62回全国植樹祭の説明パネルを作成し、参加者席のテントなどの仮設物を設置します。パネルや装飾等の製作にあたっては、紀州材を積極的に活用します。



お手入れ会場のイメージ

## 3 行事参加者

行事では、大会会長（参議院議長）など特別招待者、お手入れを介添えする緑の少年団や地元の小学生など約200人が参加し、お手入れ行事を見守ります。



#### 4 行事の概要

##### (1) 皇族殿下のお手入れ会場御着

大会会長（参議院議長）、公益社団法人国土緑化推進機構理事長及び和歌山県知事がお出迎えします。

##### (2) パネル展示などの御覧

皇族殿下に過去の全国植樹祭の様子やお手植え樹木の育成状況などを御説明します。

##### (3) お手入れ

皇族殿下が天皇皇后両陛下のお手植え樹木に枝打ち（択伐）や施肥などのお手入れをされます。

##### (4) 皇族殿下のお手入れ会場御発



パネル展示御覧の様子  
第47回全国育樹祭（福井県）



秋篠宮皇嗣殿下による枝打ち  
第47回全国育樹祭（福井県）



秋篠宮皇嗣妃殿下による施肥  
第47回全国育樹祭（福井県）



## 第4章 式典行事計画

### 1 会場の概要

#### (1) 会場

白浜会館（白浜町1-1）



白浜会館 正面玄関

白浜会館は阪田公園の中にあり、各種大会や会議を始め、室内スポーツ（卓球・ダンスなど）、講演会、歌謡ショーなど、地域の方々に親しまれ、幅広く利用されている施設です。

平成27年の紀の国わかやま国体では、卓球競技が行われ、天皇皇后両陛下が行幸啓で試合を御覧になりました。





## 2 会場設営

式典会場の整備、設営にあたっては、必要最小限の整備等で効果的な演出が得られるよう目指すとともに、周囲の景観や環境に配慮し、安全で快適な会場づくりに努めます。

### (1) 会場整備

屋内施設のメリットを活かした音響や照明などにより演出効果を高める会場づくりを行います。既存の施設や設備を最大限に利用してコストの低減を図ります。

### (2) 会場設営

開催年度に必要な仮設物を設営します。

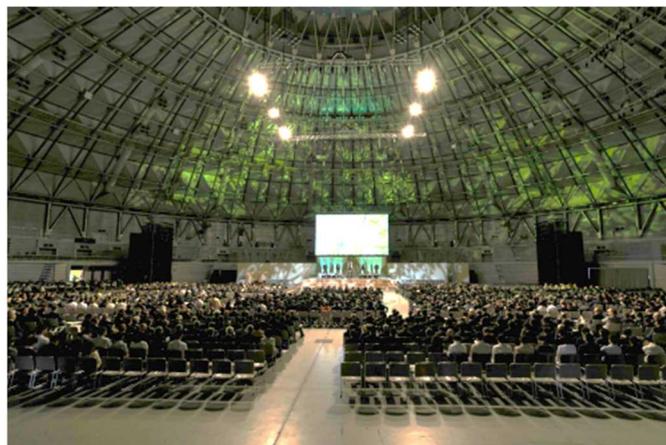
式典会場の装飾等については、紀州材を積極的に活用します。

#### ア. 主な仮設計画

御席、参加者席、装飾などを設営します。また、音響装置や照明装置などを設置します。

#### イ. 会場装飾計画

参加者を歓迎するため、花の木製プランター等で式典会場及び周辺を装飾します。



式典会場の様子

第47回全国育樹祭（福井県）

## 3 行事参加者

### (1) 式典参加者の選考方針

林業、木材産業関係者をはじめ、次世代を担う青少年やボランティア団体のほか、地元の小学生や一般公募による参加者など、各界各層の幅広い参加を求めます。



(2) 参加者の区分、人数、内訳

区 分	人 数	内 訳
中央・県外参加者	約 600 人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・和歌山県知事と公益社団法人国土緑化推進機構理事長との協議による者</li> <li>・各都道府県知事の推薦による者</li> </ul>
県内参加者	約 1,050 人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実行委員会会長の選考による者</li> <li>・県内各市町村長の推薦による者</li> <li>・一般公募</li> </ul>
出演者、運営スタッフ等	約 1,050 人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出演団体（アトラクション、緑の少年団等）</li> <li>・式典音楽隊（合唱隊）</li> <li>・実施本部員</li> </ul>
合 計	約 2,700 人	

4 式典行事の概要

(1) 式典演出

第49回全国育樹祭の開催理念に基づき、大会テーマを象徴的に表現し、かつ、本県の特色を活かした式典とします。

また、式典行事の充実を図るとともに、参加者の負担軽減に努めます。

基本構成は、プロローグ、式典、エピローグの3部構成とします。

① プロローグ

式典開催前に、県内外からの多数の参加者に対して、歓迎の意を込めたアトラクションを企画し、実施します。

② 式典

皇族殿下のおことばや緑化功労者の表彰などを行うとともに、屋内施設のメリットである音響・照明等により演出効果を活かして、参加者の記憶に残る和歌山県らしいメインアトラクションを企画し、実施します。

③ エピローグ

式典に参加いただいた方への感謝の意を込め、式典行事のフィナーレを飾るにふさわしいアトラクションを企画し、実施します。



(2) 式典行事次第

項目		説明
<b>1. プロローグ</b>		
(1)	オープニングアトラクション	歓迎の意を込めたアトラクション
(2)	紹介映像（前日のお手入れ行事）	お手入れ行事の様子を紹介
(3)	紹介映像（和歌山県の取組など）	記念行事や育樹等関連行事を紹介
<b>2. 式典</b>		
(1)	皇族殿下御着	先導：和歌山県知事
(2)	開会のことば	国土緑化推進機構 副理事長
(3)	国歌斉唱、三旗掲揚	
(4)	主催者挨拶	大会会長（参議院議長）、和歌山県知事
(5)	歓迎のことば	白浜町長
(6)	皇族殿下のおことば	
(7)	表彰	緑化功労者等に感謝状を贈呈
(8)	緑の贈呈	農林水産大臣ほか
(9)	緑の少年団の活動発表	全国緑の少年団を代表して活動発表
(10)	メインアトラクション	参加者の記憶に残る和歌山県らしいアトラクション
(11)	大会宣言	国土緑化推進機構 理事長
(12)	次期開催県あいさつ	秋田県知事
(13)	閉会のことば	和歌山県議会議長
(14)	皇族殿下御発	先導：和歌山県知事
<b>3. エピローグ</b>		
(1)	エンディングアトラクション	再会を願う意を込めたアトラクション





## 第5章 併催行事計画

### 1 育林交流集会

林業関係者はもとより、次の世代を担う若者、ボランティア団体など、森林や林業に関心を持つ方々が参加し、森林づくりや林業の課題等をテーマに講演等を行います。

- 主催 : 和歌山県、公益社団法人国土緑化推進機構
- 開催日 : 未定
- 開催場所 : 和歌山県内 (未定)
- 参加人数 : 約200人



第47回全国育樹祭（福井県）の育林交流集会

### 2 全国緑の少年団活動発表大会

全国から選出された緑の少年団の代表が一堂に集い、お互いの森林の大切さや緑を守る活動を知るため、その日頃の活動について発表を行います。また、団員同士の親交を深めるため、交流集会を行います。

- 主催 : 和歌山県、公益社団法人国土緑化推進機構
- 開催日 : お手入れ行事と同日
- 内容 : ①活動発表大会
  - ・ 開催場所 : 和歌山県内 (未定)
  - ・ 参加人数 : 約300人
  - ・ 行事内容 : 活動発表、各種表彰 等
- ②交流集会
  - ・ 開催場所 : 和歌山県内 (未定)
  - ・ 参加人数 : 約150人
  - ・ 行事内容 : レクリエーション 等



第47回全国育樹祭（福井県）の活動発表大会と交流集会



## 第6章 記念行事計画

### 1 森林・林業・環境機械展示実演会

森林・林業・環境機械の安全使用と機械化による施業の効率化を関係者に一層普及するとともに、高校生等や地元の小学生、一般参加者の関心、理解を高め、担い手を育成する契機とするため、最新の林業機械を中心とした展示実演等を行います。

- 主催 : 和歌山県、一般社団法人林業機械化協会
- 開催日 : 式典行事当日及び翌日
- 開催場所 : 和歌山県内 (未定)
- 参加人数 : 約10,000人
- 行事内容 : 高性能林業機械等の展示実演など



第47回全国育樹祭(福井)の森林・林業・環境機械展示実演会

### 2 国民参加の<sup>もり</sup>森林づくりシンポジウム

第49回全国育樹祭の1年前記念行事として、全国育樹祭の開催気運を高めるとともに、森林づくりへの参加の動機付けとなる講演等を行います。

- 主催 : 和歌山県、公益財団法人森林文化協会、朝日新聞社、  
公益社団法人国土緑化推進機構
- 開催日 : 令和7年秋季
- 開催場所 : 和歌山県内 (未定)
- 参加人数 : 約300人
- 行事内容 : 基調講演、パネルディスカッションなど



第48回全国育樹祭(宮城県)の国民参加の森林づくりシンポジウム



### 3 その他の記念行事

全国育樹祭の開催機運を高めるとともに、県民参加の森林づくりや紀州材利用を進めていくために、広く県民が参加できる記念行事を開催します。

#### (1) わかやま森林と樹木の日記念行事

- 主催 : 和歌山県
- 開催日 : 令和7年春季
- 開催場所 : 和歌山県内 (未定)
- 参加人数 : 約200人
- 行事内容 : 和歌山県緑化功労賞の授与、みどりの少年団体験イベント

#### (2) 都市と山村みどりの少年団交流集会

- 主催 : 公益財団法人和歌山県緑化推進会、和歌山県みどりの少年団連盟
- 開催日 : 令和7年夏季
- 開催場所 : 和歌山県内 (未定)
- 参加人数 : 約100人
- 行事内容 : 県内のみどりの少年団活動発表、森林教室等

### 4 その他の関連行事

#### 市町村及び関係団体との連携

和歌山県が実施するイベントのほか、市町村や関係団体が実施するイベント等を全国育樹祭の関連行事と位置付け、全国育樹祭の開催機運を醸成するための取組を進めます。



(宮城県) 第48回全国育樹祭ホームページより



## 第7章 その他

### 1 懇談会（歓迎レセプション）

皇族殿下の御臨席を仰ぎ、大会関係者を招待して懇談会（歓迎レセプション）を開催します。

- 主催 : 和歌山県
- 開催日 : 式典行事の前日
- 開催場所 : 和歌山県内のホテル（未定）
- 参加人数 : 約200人

### 2 広報・協賛

#### （1）広報及び啓発

第49回全国育樹祭の開催理念や開催意義について広く普及、浸透を図り、開催気運を高めるため、効果的な広報を積極的に行います。

##### ア．ポスター原画等の活用

公募により決定した「大会テーマ」及び「ポスター原画」を効果的に活用し、「シンボルマーク」や「ロゴマーク」をデザインした広報物品を製作して、掲示や関係機関などへの配布を行います。

##### イ．各種イベントと連携した普及啓発

毎年、県内で開催する様々なイベントと連携しながら、県民に向けた積極的な情報発信と、参加・参画への呼びかけを行います。

##### ウ．広報媒体による普及啓発

広報誌や新聞、テレビ、SNS(インターネット)などの多様な広報媒体を活用した情報発信を積極的に行います。各種の広報物（リーフレット、ポスター、パネル、のぼりなど）を制作し、関係機関などに配布します。

#### （2）記録

第49回全国育樹祭の開催記録として、記録誌や記録映像を制作します。

#### （3）協賛

第49回全国育樹祭の開催理念に賛同する企業や団体などを対象に、資金や物品、役務の提供、広報・PRへの協力等の協賛参加者を広く募集します。

**第 4 9 回全国育樹祭基本計画**

令和 7 年 3 月発行

編集・発行：第 4 9 回全国育樹祭和歌山県実行委員会

連絡先：第 4 9 回全国育樹祭和歌山県実行委員会事務局

(和歌山県 農林水産部 森林林業局 森林整備課 全国育樹祭推進室内)

和歌山市小松原通一丁目 1 番地

電話：0 7 3 ( 4 4 1 ) 2 5 7 9